

平成21年度 事業計画

上田市地域振興事業団の設立趣旨及び寄附行為の目的に沿い、コミュニティの育成を図るとともに、地域住民の文化の向上と福祉の増進に関する事業を実施します。特に、公共施設の管理運営業務の受託を通して、地域交流活動や文化振興等地域社会の発展と住みよい生活環境の創造に寄与するため、各施設の設置目的に沿った特色ある事業を展開します。

なお、農業バイオセンターについては、本年度から花き苗の供給を行う育苗部門をJA信州うえだに移管し、リンドウの親株保存、うえだみどり大根の固定化などの研究部門を上田市の直営とすることになり、事業団の受託業務でなくなります。

また、上田市合併の際の合併協定書に記されている事業団・公社の統合に向け、具体的な合併調整事務を本格的に進めてまいります。

理事会、評議員会の開催

1 理事会

- ・平成21年5月 平成20年度決算承認等について
- ・平成22年3月 平成22年度事業計画、予算(案)承認等について

2 評議員会

- ・平成22年3月 平成22年度事業計画、予算(案)等の審議

主な事業

1 公共施設の指定管理業務

- (1) 上田創造館の指定管理業務(上田地域広域連合)
- (2) 技術研修センターの指定管理業務(上田市)
- (3) 農林漁業体験実習館の指定管理業務(上田市)

2 受託業務

- (1) 上田創造館こども未来21事業(上田地域広域連合)
- (2) マルチメディア情報センターの地域情報化業務(上田市)

3 喫茶及び販売事業

- (1) 喫茶事業
 - ・上田創造館喫茶(コパン)
 - ・マルチメディア情報センター喫茶(ほーむページ)
(本年度から飲み物のみ提供)
- (2) 販売事業
 - ・上田創造館の切手、たばこの販売
 - ・農林漁業体験実習館の入浴用品等の販売

施設別の主な事業

1 上田創造館

当館は、上小地域の児童科学館と地域のコミュニティ育成、芸術文化振興の複合施設として建設されました。科学館部門では、小中学校の天文、物理、生物等の科学教育の補助的な施設と考えられており学校利用が中心となっています。今後も設立趣旨に沿って鋭意努力します。

3年目を迎える「上田創造館おもしろ科学少年団」の活動は地域に広く受け入れられ、平成21年2月現在6グループ103名の参加者によって、毎月1回の活動に取り組むとともに、学校からの強い要望で年度途中から試験的に設置した中学生の科学クラブも14名が参加して活動しており、21年度も継続して実施し更なる活動の充実を図ってまいります。なお、中学生には小学生の指導的立場での活動の機会を増やし、張り合いのある充実した活動を目指します。

また、本年は、ガリレオが初めて望遠鏡で天体観測を行って400年目に当たることから、2009年を国連とユネスコ・世界天文学連合が「世界天文年」と定め、国内においても各種の取組、イベントが進んでいることを踏まえ、当館でも関連事業を実施し

ます。

(1) コミュニティ育成事業

上小地域を中心としたコミュニティ活動の推進を図ります。

親子ふれあい物づくり体験事業として、折紙教室、ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス、きり絵教室、伝承遊びの開催

版画の手法を取り入れた蔵書票作り教室の開催（ステンシル、木版等）

蚕都上田にちなみ蚕の飼育、地域団体の協力を得て、昔話語りの会、納涼会、七夕飾り、クリスマス飾り付けの実施

絵手紙展、きり絵展、蔵書票展、上田創造館利用文化団体作品発表会の開催

プラネタリウムで星空コンサート、語りの会や天文講演会の開催

影絵教室を年間通して、子ども達が参加出来るようにし、基礎から作り上げて演じるまでを体験する。

折紙教室では、講師を招いて公演とワークショップの開催

(2) こども未来21事業

児童、生徒の「上田創造館おもしろ科学少年団」の充実と拡大

上田地域広域連合圏域の学校若しくは、公民館を拠点とする「巡回天文講演会」を圏域内で6箇所程度実施する。

学校夏休み期間中「（仮称）望遠鏡が拓いた宇宙科学400年展」の開催

プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した天文学習の開催と推進

創造館主催事業のボランティア発掘と養成事業

大人の科学クラブ継続と参加者の増加を図る

星空案内人（星のソムリエ）講座の開催と準案内人のスキル向上

（「星空観望会ボランティアの養成事業」として）

幼児と保護者の美術講座の活動充実

「子どもは天才講座」として、地域の作家の協力を得て開催

(3) 文化振興事業

地域の伝統・伝承的民俗行事等の紹介や教育、文化活動を支援し、地域の芸術文化の発展に努めます。

地域に伝わり、伝承的財産として保存されている行事等の紹介や展示

「企画展 水と人々の生活展」「道祖神まつり展」「凧展」「しめ縄づくり」の実施
文化団体等との共催による美術展を開催し、展示施設等の有効利用と利用促進を図る。

「東信（上小）美術展」「農民美術作品展」「陶磁展」「油彩画展」「水彩画展」

「上小地域作家作品展」「パッチワークキルト展」「水墨画展」「写真展」の開催

児童生徒の芸術文化活動への支援

上小地域小中学校児童生徒作品展（絵画・書道・立体作品）の開催

(4) ソフト事業

園児や小中学校の学習教室の開催

学校週休2日制に伴う児童生徒の校外学習教室の開催

各種パソコン教室の開催

(5) その他事業

貸し館部門は、上田市内には事業、商目的で使用できる施設が少ないことなどから安定的に利用され、利用率も伸びています。今後も、現状を分析しながら指定管理者として施設の適正管理、自主事業の充実、貸し館部門の利用促進に努めます。

市立図書館の分室、学習室としての活用

2 上田市技術研修センター

近隣市町村の公共施設及び各企業に施設の案内パンフレットを置いていただき、研修会、会議等の利用者の拡大を図るとともに、利用者の安心、安全のため、救急講習、防災訓練等を実施します。

なお、上田市では労働行政の今後の方向性について検討し、当該施設を含めた労働福

社施設の見直しを進めており、宿泊利用者が減少している当該施設の目的、機能等についても、共同福祉施設（サンワーク上田）との統合を視野に検討しています。

3 農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）

当館は、山間の緑豊かな静けさの中、地下1,500mから自噴する化粧水の湯が肌をしっとりスベスベにするとともに、湯量は豊富で天然温泉100%のお湯です。だからこそ、自信を持って利用者の皆様に満足していただけるサービスと、笑顔でお客様をお迎えし、魅力ある温泉施設として営業努力に励み、農村と都市との拠点施設として、環境整備と管理に努め、温泉資源を活用した地域に密着した事業の展開を推進します。

なお、上田市では露天風呂及び洗い場の増築工事に向けて、本年度、実施設計業務に着手する予定です。

- (1) 開館12年で入館者300万人達成記念イベントの開催
- (2) 地域との連携を図る各種イベント等の実施
（ほたる祭、七夕まつり、盆踊り大会、きのご研修会、温泉まつり、もちつき・しめ縄作り体験等）
- (3) 情報・文化の交流を深めるギャラリーの活用
（写真展、絵画展、生け花展等）

4 マルチメディア情報センター（メディアランドUEDA）

「市民と行政がいつでも結ばれる情報快適都市・上田」を基本方針とする「上田市情報化基本計画」を踏まえ、地域情報化を推進する拠点として、市民ニーズを的確に捉えた事業の充実を図ります。

また、次代を担う児童生徒に対する情報モラルや情報活用能力の向上を図るため学校教育の情報化を支援するとともに、ネットワークセンターとしての役割の強化を図り、情報化社会の利便性の向上に努めます。

- (1) 人材育成事業
マルチメディア情報センターでは、情報技術を活用した表現力の向上や個性を引き出す事業を展開してきました。また、各種セミナーの受講者はこれまでの累計で5万人を超え、一般市民のICT（Information Communication Technology）活用の底上げに大きな役割を果たしています。さらに、近年の情報化の進展に伴い社会生活が便利になった反面、個人情報漏洩や情報を悪用した違法行為、有害情報が氾濫する中、様々な情報を正しく判断する能力の育成も必要となっています。
教育委員会に配置された情報教育主事との連携を強化し、学校教育の情報化並びに、ICTを活用した学習の支援
情報モラル、セキュリティ、情報活用能力の向上を図るための支援
ARECとの連携を強化し、地域企業のICT高度活用等の支援
ICTを活用した表現力の育成や生涯学習の支援
商工労働行政との連携を図り、就業支援事業の実施
- (2) 地域個性の情報発信
これまでに蓄積されたコンテンツを情報発信するWebサイトは「内容が充実した全国屈指のサイト」として評価されているほか、職員による自主制作ビデオ映像も全国規模のコンクールで入賞するなど地域の個性を記録、保存することに力を入れています。それらを有効かつ多用途に利用することにより「活力ある上田」を積極的に情報発信してまいります。
地域の貴重な文化資産を記録、保存し、多用途に活用
蓄積されたコンテンツを活用した魅力的で個性あふれる情報の発信
- (3) 情報活用支援センター機能の充実
国は2010年の次世代ICT社会の実現に向けた中期ビジョンを策定し、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークを簡単に利用した便利な社会を目指しています。上田地域の高度情報化施設としてネットワークの中心となるマルチメディア情報センターの一層の機能強化を図り、情報技術を活用する支援センターとして

の機能を充実させてまいります。

市民団体との連携による効果的な情報発信

市民ICT相談の充実

教育系ネットワーク（うえだ学びの森ネット）等の活用

(4) その他

施設の利用者増を図るための積極的な広報活動を行うとともに、映像の上映会やイベントを開催します。

また、「出前ときめきのまち講座」等により施設の存在価値を高めてまいります。